

2024年3月期 第1四半期決算説明資料

2023年8月10日

株式会社海帆

証券コード:3133

目次

I	会社概要 p.3
II	2024年3月期第1四半期決算概況 p.7
III	計画の進捗状況 p.15

I. 会社概要

株式会社海帆

証券コード:3133

会社概要

会社名	株式会社海帆(かいはん)
所在地	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅四丁目15番15号 名古屋総合市場ビル
連絡先	TEL 052-586-2666 FAX 052-586-2555
創立	2003年5月
代表	吉川 元宏
資本金	1,010百万円 (2023年6月末日現在)
従業員	64名 (99名) (2023年6月末日現在) ※使用人員は就業員数であり、()外数は臨時従業員の平均人数(1日8時間換算)であります。 臨時従業員には、パートタイマー及びアルバイトを含んであります。
事業の内容	居酒屋を中心とした飲食店舗の企画開発及び運営
連結子会社	株式会社SSS 株式会社大三萬年堂LAB KR ENERGY JAPAN合同会社 KR エナジー1号合同会社

【社 是】

幸せな食文化の創造

当社は、「幸せな食文化の創造」という考えのもと、飲食を通して地域の活性化、新しい食文化の醸成を目的とし社会に貢献し人の幸せにつながる価値のある企業を目指しております。

【経営理念】

常により良い商品と真心のサービスを通じ、 お客様に美味しさと満足を提供します。

常により良い商品……成長性、収益性、経済性、安全性を高めた商品
真心のサービス……お客様第一主義であること
美味しさと満足を提供…顧客、従業員ともの感動満足を共有

株式会社海帆の沿革

年	月	主要な事項
2003	5	愛知県名古屋市中村区名駅四丁目15番15号に飲食店の経営を主な事業目的として、有限会社海帆(資本金3,000千円)を設立
	6	名古屋市守山区に第1号店として、「なつかし処昭和食堂 小幡店」を開店
2006	10	有限会社海帆を、株式会社海帆へ商号変更
2009	9	広告代理業務を内製化するために、有限会社アドハンを吸収合併
2010	8	昭和食堂を運営していた、「中京ニックス株式会社」から9店舗を一括取得
2012	3	株式会社魚帆を100%子会社化
2015	4	東京証券取引所マザーズ市場上場
2019	6	「立喰い焼肉 治郎丸」を事業譲受により取得
	12	「海鮮個室居酒屋 葵屋 浦和店」を事業譲受により取得
2020	1	株式会社魚帆を清算
2021	5	株式会社ファッツと「新時代」のフランチャイズ契約を締結
	7	三重県鈴鹿市、三重県津市、岐阜県大垣市、岐阜県岐阜市の既存店を「新時代」にリニューアルオープン
2022	4	東京証券取引所の市場区分の見直しにより、マザーズ市場からグロース市場へ移行
	7	株式会社SSSの株式を取得し子会社化
	10	再生可能エネルギー事業参入のため、当社子会社としてKR ENERGY JAPAN合同会社(2023年1月31日商号変更)を設立
	12	当社子会社への第三者割当増資により、休眠会社であった株式会社エストを株式会社大三萬年堂LABへ商号変更
2023	1	匿名組合出資によるKRエナジー1号合同会社を子会社化

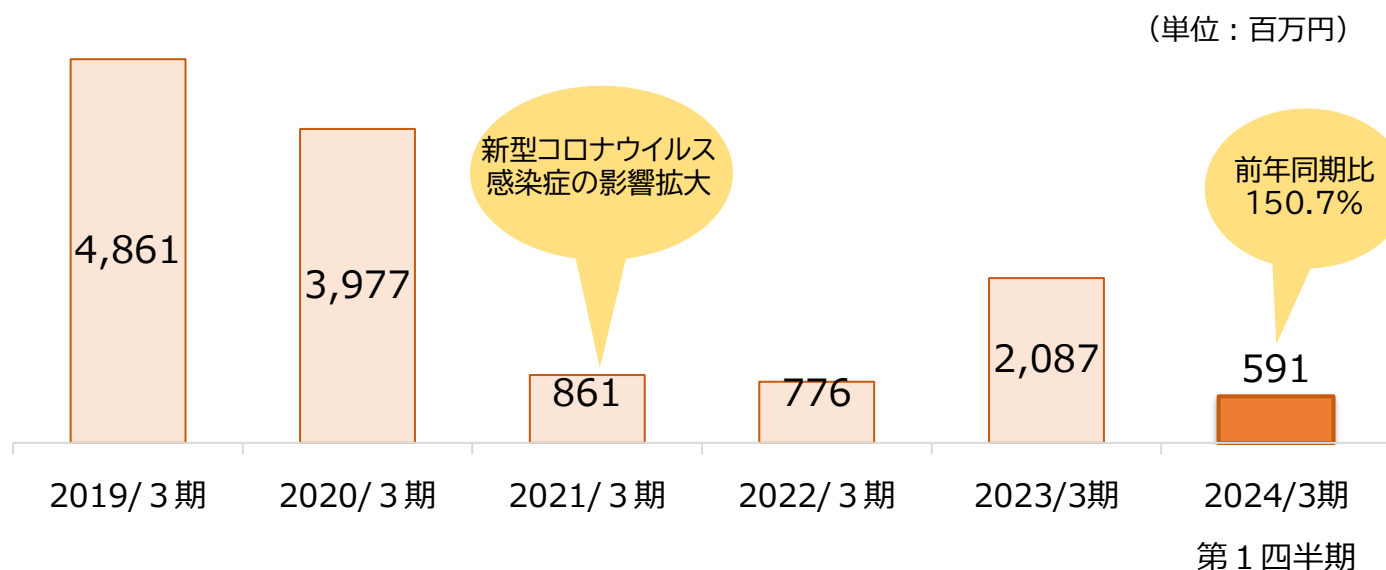
Ⅱ. 2024年3月期第1四半期 決算概況

株式会社海帆

証券コード:3133

2024年3月期第1四半期 売上高の推移

新型コロナウイルス感染症による行動規制が緩和されたことにより、国内の居酒屋需要及びインバウンド需要に回復の兆しが見えております。また、当社店舗を「新時代」へ業態変更を進めたこと、2022年7月に同じ居酒屋事業を行う「株式会社SSS」の株式を取得したことにより、当社の売上高は回復傾向にあります。



※2019年3月期までは連結決算、2020年3月期から2022年3月期は単体決算。

※2023年7月より再び連結決算に移行。

2024年3月期第1四半期 損益計算書サマリー

物価高騰等による売上原価の増加はあるものの、当社グループのFC加盟モデル店舗増加による売上高の計上により、売上高総利益率はプラスになっております。しかしながら、光熱費や人件費コストの増加しているため、全社費用を抑えられているものの、営業利益は前年同期と横ばいになっております。

経常利益以降は、前年同期に計上していた助成金返還損(30百万円)が今期は発生していないため、その影響額が損益の回復に寄与しております。

詳細は、2023年8月10日発表の「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

単位：百万円

		2023/3期 第1四半期	2024/3期 第1四半期	増減
		単体	連結	
P / L 項目	売上高	392	591	199
	売上総利益	241	399	158
	営業損失(△)	△121	△127	△6
	経常損失(△)	△158	△123	35
	税引前四半期純損失(△)	△190	△151	39
	親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△199	△167	32

2024年3月期第1四半期 貸借対照表サマリー

子会社であるKRエナジー1号合同会社にて借入(5億円)を行ったことにより、借入金(負債)が増加しております。

また、子会社であるKR ENERGY JAPAN合同会社ならびにKEエナジー1号合同会社にて、太陽光発電設備の取得を行っているため有形固定資産の額が増加しております。

詳細は、2023年8月10日発表の「2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご覧ください。

単位:百万円

		2022/3期末 単体	2023/3期末 連結	2023/3期 第1四半期 連結
B / S 項目	総資産	2,124	2,660	3,026
	負債	1,674	2,369	2,665
	(うち借入総額)	918	1,180	1,615
	純資産	449	290	360
指標	自己資本比率	20.1%	10.9%	11.9%
	流動比率	167.6%	88.1%	64.5%
	現預金比率	148.1%	23.6%	19.9%

※自己資本比率 = 自己資本 ÷ 総資本 (他人資本 + 自己資本) × 100 (%)
 流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100 (%)
 現預金比率 = 現預金 ÷ 流動負債 × 100 (%)

Copyright © 2023 kaihan co., Ltd. All rights reserved.

2024年3月期第1四半期 セグメント

当社は、2023年3月期第2四半期までは飲食の単一セグメントでしたが、2023年3月期第3四半期より再生可能エネルギー事業を開始したことにより、報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報を開示しております。

2024年3月期第1四半期に関しましては、既存店を「新時代」に業態変更したことによる売上高が増加したこと、また、株式会社SSSの株式を取得したことにより、飲食事業のセグメントは黒字化しております。

再生可能エネルギー事業に関しては、太陽光発電設備が建築段階であり、売電が始まっていないことから、売上高の計上は無く、必要コストの計上のみにとどまっております。

単位：百万円

	報告セグメント			調整額 (※1)	四半期連結財務諸表 計上額(※2)
	飲食事業	再生可能 エネルギー事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	591	—	591	—	591
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	591	—	591	—	591
セグメント利益又は損失(△)	69	△35	34	△161	△127

※1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等21百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△183百万円であります。

※2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

飲食事業 中心ブランド

■2023年3月期にて、業態変更後に収益力の回復が見込まれる既存店に関して、FC加盟をした新時代へのリニューアルを中心に行いました。その結果、店舗の売上高は回復しております。

東京
新橋 **新時代**

一度食べたらクセになる、日本一のパリモチ鶏皮串「伝串」と幅広いメニューがとにかく安くて旨いお店です。



伝串の皮

独自の波型串打ちにより、
日本初のパリモチ食感を実現。
余分な脂を落としコラーゲンのみを残しました。



伝串のタレ

伝串のために開発した自慢の甘口タレ。
万病に効くと言われる高麗人参を
贅沢に配合しました。門外不出。



伝串のスパイス

伝串のために開発した自慢のスパイス。
主原料は大豆で塩分0を実現しました。
門外不出。

再生可能エネルギー事業

太陽光発電設備の開発・建設

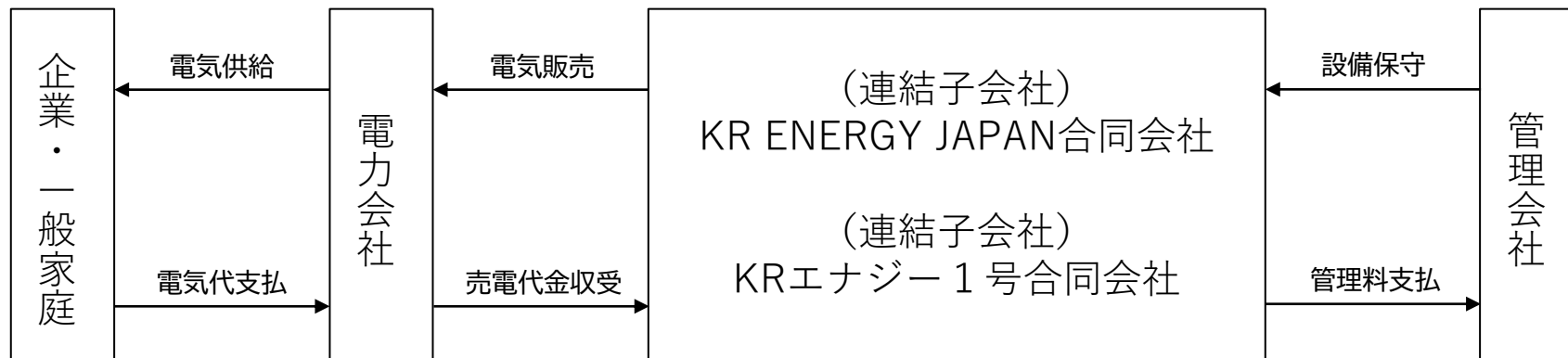
新たな事業として再生可能エネルギー事業を推進するため、太陽光発電設備の取得に着手しております。

昨今の新型コロナウイルスの感染症拡大等によるパンデミック発生時においても、安定的な収益基盤を築くこと、また世界的な脱炭素社会にむけて少なからず貢献できると考えております。

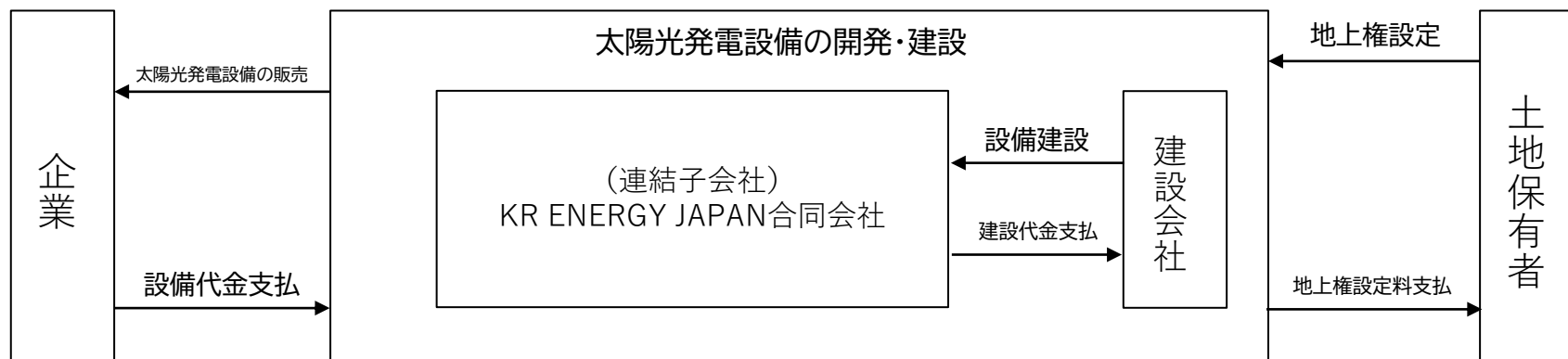


再生可能エネルギー事業 ビジネスモデル

太陽光発電による電力の主な売買フロー



太陽光発電設備の開発・建設と販売



Ⅲ. 計画の進捗状況

株式会社海帆

証券コード:3133

2024年3月期の業績予想に関して

2024年3月期第1四半期においては、2023年6月29日に開示いたしました「事業計画及び成長可能性に関する事項」に記載の業績予想からの変更はございません。

今後は、飲食事業の新規出店及び再生可能エネルギー事業での売上高と利益の増加を見込んでおります。

(単位：百万円)

	2022/3期 累計期間	2023/3期 累計期間	2024/3期 第1四半期	2024/3期 累計期間	前年 差異
	単体	連結	連結	連結	
売上高	776	2,087	591	3,168	1,081 ↗
売上総利益	501	1,377	399	1,766	389↗
営業損益	△703	△601	△127	△501	100↗
経常損益	△348	△633	△123	△540	93↗
当期純損益	△453	△1,135	△167	△687	448↗

飲食事業に関して

現在、好調な業績である「新時代」の新規出店に向け、当社のニーズに合う物件の取得に向けて店舗開発を行っております。新規出店に関しては、下期に向けて動いておりますので、出店の際は別途適時開示（固定資産の取得等）にてお知らせいたします。

また、当社は「なつかし処昭和食堂」や「えびすや」、「大須二丁目酒場」など様々な居酒屋業態を展開しており、大型宴会需要向けのコンテンツを中心としておりましたが、企業の宴会需要が縮小されてきたこと、また新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、居酒屋利用の機会が大きく減少したことで、事業規模の縮小をしてまいりました。

今後、居酒屋業態に限らず、積極的な業態コンテンツの開発に努めてまいります。



再生可能エネルギー事業

太陽光発電設備の開発状況

再生可能エネルギー事業を推進するため、太陽光発電設備の開発・建設に着手しております。
太陽光発電による電力売買や、太陽光発電設備資産の販売など、今後も積極的に取り組んで参ります。



未使用となった農地等を取得



整地作業



フェンスの設置や杭打ち等



ケーブルや架台設置



太陽光パネルの設置

再生可能エネルギー事業

長期売電契約

安定的な長期売電契約に基づき、16.335MW-AC のNon-FIT低圧太陽光発電所のうち、既に5.94MW-AC(120区画)を取得建築中となっており、事業進捗率は36.4%と順調に進んでおります。今後、残りの区画取得を加速させ、再生可能エネルギー事業を拡大していく予定となっております。新たに区画の取得などを行う際は、別途適時開示にてお知らせいたします。



再生可能エネルギー事業

太陽光発電量及び売電価格集計システム共同開発

2023年7月4日に開示しました「太陽光発電量及び売電価格集計システム共同開発に関するお知らせ」のとおり、「株式会社エナジーリンクス」と共同で太陽光発電所の発電量及び売電価格を一括で取得できる機能を有しているシステム開発を行うことといたしました。

その他再生可能エネルギー

2023年6月29日に開示いたしました「事業計画及び成長可能性に関する事項」のロードマップに記載のとおり、当社では太陽光発電以外での再生可能エネルギーの検討も行っております。

2023年7月31日に開示しました「シンエネルギー開発株式会社との業務委託契約締結に関するお知らせ」のとおり、当社の飲食事業において、店舗から出る食品残渣(フードロス)等を、再生可能エネルギーに転換して有効活用できないか、「シンエネルギー開発株式会社」に発電に係る検証等を依頼しております。

今後、事業化をすることができると判断した場合は、別途適時開示にてお知らせする予定です。

— 本資料等に関する注意事項 —

本資料につきましては、当社グループが現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものが含まれており、これらとは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。従って、実際の業績が、本資料の予想とは大きく異なる可能性がございます。

各データや資料については細心の注意を払っておりますが、記載された情報の誤りや第三者によるデータの改ざん等本資料に関連して生じる障害・損害について、その理由の如何に関わらず当社は一切責任を負うものではありません。

本資料は、あくまで当社をより深く理解していただくためのものであり、必ずしも投資をお勧めするためのものではありません。

【お問合せ先】

株式会社海帆 IR担当

E-mail : ir@kaihan.co.jp

株式会社海帆

証券コード:3133